

『第16回不動産協会賞』決定

一般社団法人不動産協会（理事長：吉田淳一 三菱地所会長）では、第16回『不動産協会賞』（2025年刊行分）を決定いたしました。

2009年度より始まった『不動産協会賞』は、不動産協会の社会貢献活動の一環として、日本経済や国民生活に関する著作物の中から、世の中の多くの方々に読んでいただくことにより、当協会が直面する幅広い課題についてご理解をいただくのに資する著作物を表彰するものです。

著作のジャンルは、「都市再生・まちづくり」「エリアマネジメント」「豊かな住生活の実現」「防災・レジリエンス」「脱炭素」「少子高齢化」「働き方改革」「地方創生」「DX」など、幅広い分野の著作物を対象としています。

《第16回『不動産協会賞』受賞作品》 （著者 五十音順）

- 「風の谷」という希望：残すに値する未来をつくる
（ 安宅 和人 著・英治出版 ）

- 経営戦略としての都市再生：チームによるエリアマネジメントの実践と手法
（ 後藤 太一 + リージョンワークス 著・学芸出版社 ）

- 関係人口の時代：「観光以上、定住未満」で地域とつながる
（ 田中 輝美 著・中央公論新社 ）

第16回『不動産協会賞』受賞作品

(著者 五十音順)

『「風の谷」という希望：残すに値する未来をつくる』

著者：安宅 和人（慶應義塾大学環境情報学部教授、LINE ヤフー株式会社シニアストラテジスト、一般社団法人残すに値する未来代表理事）

出版社：英治出版

内容：「このままでは歴史ある自然豊かな土地が打ち捨てられ、都市にしか住めない未来がやってくる……」突如、著者を襲った直感は、専門を越えた仲間との7年にわたる膨大な検討を経て、壮大なビジョンと化した。自然豊かな疎な空間を、都市に頼らずとも人が住み続けられるもう一つの未来として提案する「風の谷」の構想は、今後の都市と地域の関係性を根底から捉え直す契機となる作品。

『経営戦略としての都市再生：チームによるエリアマネジメントの実践と手法』

著者：後藤 太一（リージョンワークス合同会社代表社員） + リージョンワークス

出版社：学芸出版社

内容：まちづくりの成果が見えないのは、経営という視点がなく、各取り組みの成果がまち全体に波及しないからだ。福岡、神山、渋谷、福井で都市の経営を30年実践してきた実務のプロが、戦略・組織・事業づくりを体系化し、まちづくりを構造改革する武器を獲得できるための知見を示す内容は、まちづくりの現場で役立つヒントが詰まった、実践者のための指南書となる一冊。

『関係人口の時代：「観光以上、定住未満」で地域とつながる』

著者：田中 輝美（島根県立大学地域政策学部准教授、ローカルジャーナリスト）

出版社：中央公論新社

内容：人口が急減するなか、自治体間で人を奪い合うゼロサムゲームでは明るい未来を描けない。こうした状況下で注目を集めているのが特定の地域に継続的に関心を持ち、関与するよそ者である。「観光以上、定住未満」の関わり方をする「関係人口」によって、都市にも地域にもプラスになる関係を築くための方策を豊富な事例から解き明かす本作は、これからの地域づくりにおける必読書となる作品。

■一般社団法人不動産協会について

一般社団法人不動産協会（理事長：吉田淳一 三菱地所会長）は、良質なオフィス・住宅の供給、住宅ストックの円滑な流通などを行う不動産事業者の団体です。

（会員企業162社）

■「不動産協会賞」選考委員

（敬称略）

青山 侑（座長）	明治大学 名誉教授
田中 里沙	学校法人先端教育機構事業構想大学院大学 学長
増田 寛也	（株）野村総合研究所 顧問
三橋 博巳	（公社）日本不動産学会 顧問
川島 崇裕	東急不動産ホールディングス（株）グループ企画政策室統括部長
崎山 隆央	三井不動産（株）執行役員企画調査部長
野村 正史	（一社）不動産協会 副理事長専務理事

〔本件に関する問合せ先〕

〒100-6017 東京都千代田区霞が関3-2-5（霞が関ビル17階）

一般社団法人不動産協会 担当：飛田、内田

TEL：03-3581-9421 FAX：03-3581-7530

以上